

(阿久津正輝先生)

私は過去に不合格を経験しております身ですので、これから専門医の受験を考えている先生方の参考になるかどうかはわかりませんが失敗談として書かせていただきます。

不合格になりました時の口頭試問でのことですが、学会発表(塩路先生が主演者で私が共同演者)で、タイトルは「上顎無歯顎患者にミニインプラントを使用して即時負荷をおこなった一症例」というのがありました。この発表内容を説明して下さい。という質問を口頭試問の時に受けたんですが答えられませんでした。そうしましたらその質問をした試験官が「共同演者になっているんだからどういった内容の発表だったのかわからないといけませんね。専門医になるんだったら是非とも今度は主演者で発表をしてみてください。」というアドバイスをいただきました。

今から考えてみますと、この時の他の質問内容は返答に困るような質問が多く、不合格になって当然だと納得させるようなものでした。

そこで学会発表の実績を作ろうと思い、今度は私が主演者となり昨年の仙台で開催された全国大会で発表をしました。(人前での発表は得意ではありませんが)そうしましたら今回の専門医の口頭試問の時には、先生は主演者で発表していますが、専門医になった時には今度は他の分野の演題での学会発表もどンドンして行って下さいね。といった具合で不合格になった時よりも口頭試問の質問内容も学会発表をしたら大変融和的で優しいものでした。

私の偏見かもしれませんが、専門医の試験を考えている先生方は是非とも学会発表を経験しておいて下さい。合格確率がぐっとアップすると思います。

最後になりますが、歯科医師国家試験もそうですが、日本口腔インプラント学会の専修医も専門医の試験も合格率も年々低くなっておりますので早めの受験を考えて下さい。IIRDには頼りになる専門医受験対策委員会がありますので必ず合格できると信じて受験してみてください。